

「活動報告（平成十年）」

一、研究会等

◇ 戦史研究発表会 ◇

平成十年七月二日 防衛研究所大講堂

研究発表

「戦時下仏印におけるフランスの対日協力」

戦史部助手 立川京一

「開戦経緯の経済的側面」

戦史部所員 荒川憲一

「湾岸戦争にみる米軍の戦略展開

—JOPESを中心にして—

戦史部所員 高橋弘道

特別講演

「大東亜戦争・太平洋戦争はいかに語られてきたか」

作家 保阪正康

◇ 各種研究会 ◇

平成十年三月十七日

「海軍を語る」

元海軍省人事局課員・海軍大佐 末国正雄

平成十年五月十五日

「日米作戦計画立案実行システムの比較研究」

埼玉大学教授 長谷川三千子

平成十年六月九日

「統帥権について」

高崎経済大学名誉教授 三瀧信吾

平成十年六月二十四日

「戦後五十年とアメリカ」

ジョージ・ワシントン大学歴史学部長・教授

ロナルド・スペクター (Ronald Spector)

平成十年七月三十日

「明治憲法の多元性について」

平成国際大学教授 慶野義雄

平成十年十月二十三日

「海軍航空隊史 — 航空機無用論をめぐって —」

作家 碓 義朗

平成十年十月三十日

「海軍国防思想 — 佐藤鉄太郎中將を中心にして —」

戦史研究家 石川泰志

平成十年十一月十六日

「湾岸戦争とイスラエル」

イスラエル国防軍・前戦史部長

ベニー・ミハルソン (Benny Michelson)

平成十年十一月二十日他

「中国方面海軍作戦について」

元戦史部戦史編纂官 市来俊男

平成十年十一月二十六日

「陸軍将校の教育社会史」

東京大学助教授 広田照幸

平成十年十二月十日

「ロシア国境（領海）法制史について」

横浜国立大学教授 布施 勉

◇ 国際特別研究会 ◇

ブルース・レイノルズ (Bruce Reynolds) サンホゼ州立大学教授

平成十年十月五日「日泰同盟成立への政治過程」

平成十年十月六日「困難を極める日泰関係

— 一九四四年七月 ピブーン政権の崩壊まで —」

平成十年十月七日「戦争終末期における日泰関係」

◇ 戦史現地研究 ◇

九州地区（知覧特攻平和会館・田原坂・長崎原爆資料館他）

平成十年十一月九日～十三日 戦史部長以下八名参加

二、戦史資料の閲覧

防衛研究所は、旧陸海軍関係の公文書・非公文書及びその他戦史関係の出版物並びにそれらの複製物（以下「史資料」という）を、平日九時から十六時三〇分まで、図書館史料閲覧室において一般に公開している。

調査研究のため閲覧を希望する者は、所定の手続きをとって誰でも閲覧することができる。

本年（平成十年）の閲覧者総数は、四、三五六名であった。月別閲覧者数は次表のとおりである。

閲覧者数	月	閲覧者数	月	閲覧者数	月	閲覧者数	月
三三七	十	四四三	七	三三六	四	二一六	一
四〇二	十一	三九三	八	三四四	五	三四四	二
三四〇	十二	四〇二	九	四六一	六	三二八	三

三、参考調査

防衛研究所は、図書館史料閲覧室史料専門官、戦史部参考調査担当官を窓口として、史資料の検索、特定史資料の内容に関する情報提供、史資料に関する参考文献及び専門的調査機関等に関する情報提供を行っている。

これらの活動に対して、国内外から礼状等が多数寄せられている。本年（平成十年）の参考調査統計は、左記の通りである。

(一) 要求件数

総件数は、一、八三四件であった。月別件数は左表の通りである。

要求件数	月	要求件数	月	要求件数	月
一五九	九	一三〇	五	九八	一
一八六	十	一九六	六	一一〇	二
一三一	十一	一九二	七	一四六	三
一四二	十二	一九一	八	一五四	四

(二) 要求者の職業

要求件数	職業	要求件数	職業	要求件数	職業
一九一	会社員	三三二	図書館	二四〇	防衛庁
二八三	その他	一〇九	研究者	一五一	他官庁
		二五二	報道等	二三五	旧軍
		一五六	外国人	一八五	大学等

(三) 外国人

総件数は、一五六件であった。

要求件数	国	要求件数	国	要求件数	国	要求件数	国	要求件数	国
一	イタリア	一	中国	五	韓国	五	ロシア	五一	アメリカ
一	ポーランド	三	ニュージーランド	五	オランダ	七	フランス	四五	イギリス
一	アイルランド			二	ギリシャ	三	カナダ	一四	オーストラリア
				二	台湾	五	ドイツ		

要求件数	質問内容	要求件数	質問内容	要求件数	質問内容
一〇二	軍事施設	二四一	個人歴	五	戦争指導
七	服装記章	一三二	制度	一五三	作戦戦闘
一五	教範用語	一一九	兵器	二六八	部隊歴

(四) 質問内容

要求件数	国	要求件数	国
一	南アフリカ	一	イスラエル
		一	フィリピン
		一	ミャンマー

(五) 陸海軍別

要求件数	
七一一	陸軍
五一一	海軍
二六三	共通
三四九	その他

要求件数	質問内容	要求件数	質問内容	要求件数	質問内容
一	戦史叢書	三	研究開発	二七	教育訓練
三八	外国戦史	一一七	史料	三	情報
九二二	その他	七	自衛隊史	一六	兵站補給

(六) 要求・回答手段

回答件数	回答手段	要求件数	要求手段
八〇九	電話	八七九	電話
四九八	文書	三八三	文書
四七六	直接	四九一	直接
五一	FAX	八一	FAX

(七) 回答日数

件数	回答日数	件数	回答日数	件数	回答日数	件数	回答日数
四六	一月以内	二一	七日	五五	四日	一三七五	一日
二九	一月以上	三四	十日以内	二八	五日	一〇四	二日
		三二	十五日以内	一八	六日	五八	三日

四、見学者

平成十年の当図書館史料庫を見学した主な見学者は、左記のとおりである。

二月十九日 内閣官房外政審議室一行五名

二月二十七日 山口県史編纂室一行二名

三月六日 フィリピン教育・文化・スポーツ省中等教育局長一行八名

三月二十四日 オーストラリア戦争博物館一行七名

七月十六日 上智大学文学部学生一行十名

八月三十一日 広島大学大学院生一行六名

九月十日 玉川大学学生一行十六名

十一月十四日 中国社会科学院中日歴史研究中心専門家委員会訪日団一行十二名

十一月十六日 イスラエル国防軍・前戦史部長

十一月三十日 東京女子大学現代文化学部学生一行十九名

(河合正廣、長山真一)